



## 災害に対する 事前の備えを怠らない



### 大地震が発生したら

- \* カーラジオ等で地震情報や交通情報を聞き、状況に応じて行動する。
- \* 車を置いて避難するときは、エンジンキーはつけたままで、窓を閉め、ドアをロックしない。
- \* 警察官の指示に従う。
- \* 倒壊のおそれがある塀や建物の近くを走行しない。



事業所は、自然災害の発生に備え、あらかじめ対策を講じておく必要があり、事前に行うべき対策としては次のものがあります。

- ① 国土交通省や各自治体が公表しているハザードマップを入手し、災害発生時の避難場所や危険地帯を従業員に周知しておく。
- ② 緊急連絡網を構築しておく。作成にあたっては次の点に留意する。
  - ・ 複数の緊急連絡手段を定めておく。
  - ・ 災害訓練時に緊急連絡体制が機能するかチェック
  - ・ 災害発生時に連絡先が確認できるように緊急連絡網をカード化し、車のダッシュボード等に入れておく。
  - ・ 定期的に連絡網を見直す。

### わがまちハザードマップ

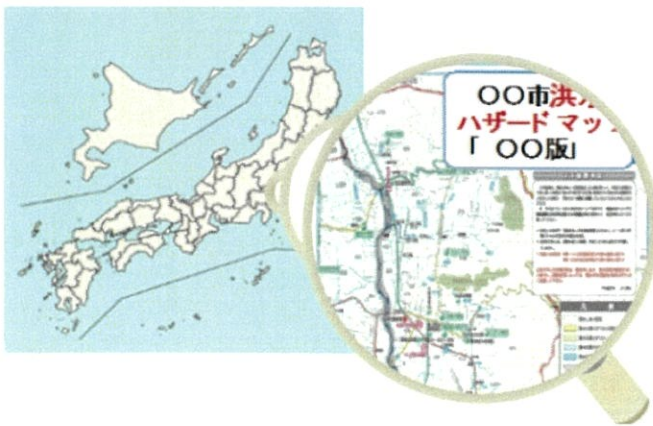
～地域のハザードマップを入手する～

各市町村が作成したハザードマップへリンクします。地域ごとの様々な種類のハザードマップを閲覧できます。

地図で選ぶ

まちを選ぶ

都道府県  市区町村



- ③ 災害対応マニュアルを作成する留意点
  - ・ 大雨や地震だけでなく、火山噴火や高波などが予想される事業所では、それらを含めた災害を想定する。
  - ・ 簡潔、明瞭な内容とする。
- ④ 災害時の組織体制を構築しておく。

